

わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(9月)

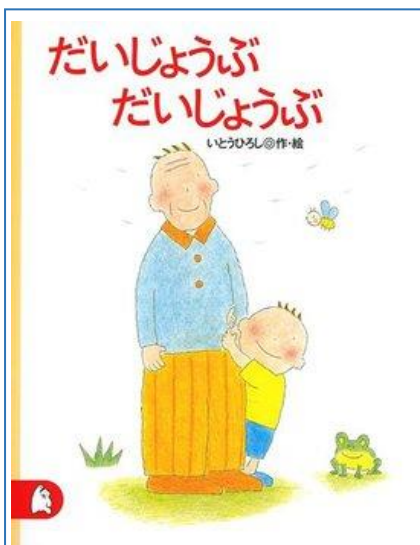
<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎
矢祭町「子ども読書の街」づくり推進委員会委員長



『だいじょうぶ だいじょうぶ』

作・絵 いたう ひろし
出版社 講談社



人生は一冊の、問題集と言います。
子供達が成長していく中で、たくさんの出会いがあり、不安や悩みを持ちながら成長していくものです。大人になっても同じことがあります。
人生の大先輩のおじいさんのことばで、子供は安心感を持ちます。
人生は、人から学び、本から学ぶことが大切だと思います。

内容のご紹介

小さかったころのぼくを いつもたすけてくれたのは、おじいちゃんのことばだった。

心配しなくても「だいじょうぶ」。無理しなくても「だいじょうぶ」。

それは、おじいちゃんのやさしいおまじない。

子どもたちのしなやかな強さを育むのはもちろん、すこし疲れた大人にも前を向く力を与えてくれる絵本です。

小さなぼくが不安な気持ちになると、いつもおまじないの言葉で助けてくれたおじいちゃん。生きていくためのしなやかな強さを育む、心にしみる絵本です。

(矢祭もったいない図書館)